

# フィリア・レター

～真の友人からの手紙～



発行所:中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明 1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>



## 中部ろうさい病院を 上手に活用してください

副院長 南木 道生

知っておくと便利なポイントを以下にご紹介します。円滑な療養にお役立てください。

●初診の場合：かかりつけの診療所や病院がある場合は、必ず紹介状をお持ちください。そこでの経過や検査結果などの情報があると重複する検査などの無駄を省略できます。更に紹介状をお持ちになると特定療養費がかからない、診察が優先されるなどの利点があります。なお以前に受診した事があっても一定期間を過ぎますと初診となります。

●当院での診療が終了して、以後かかりつけの診療所に通院する際は、当院からの紹介状と検査データをお持ちになると、一貫した適切な診療の継続に役立ちます。また中部ろうさい病院は地域の病院や診療所と連携し、支援する地域医療支援病院であり、高精細なCTやMRI(磁気共鳴イメージ)などの医療機器も地域の診療所から予約して

利用する事ができます。

●どの科を受診したらよいか分からない場合：正面玄関から入った所のインフォメーション(案内)にベテランの優しい看護師がいます。お気軽にご相談ください。

●外来への電話問い合わせ：緊急性がない場合は平日午後3時から5時の間にお願いします。

●高額療養費などの相談や当院退院後に療養病院などへ転院する場合、あるいはご自宅の近くの診療所を探したい場合など、よろず相談室で承ります。

●手術などの説明を聞く場合：以下のポイントに留意して、同意の署名をする前に納得できる迄よくお聞きください。(リスク：良くないことが起こる可能性) ①病名・病状 ②推奨される治療法の内容、目的、成功の可能性、効果、合併症のリスク、費用③他の治療法の可能性 ④治療を行わなかった場合のリスク ⑤回復時の主な問題点と日常生活復帰までの期間

### 今月号のお知らせ

- ①中部ろうさい病院を上手に活用してください  
.....副院長 南木 道生
- ②耳鼻咽喉科の新外来体制について  
.....耳鼻咽喉科部長 安藤 篤
- ③糖尿病バイキング教室の紹介  
.....栄養管理室 水野 智春
- ④医療ソーシャルワーカーをご存じですか?
- ④看護週間によせて

- ⑤自分のからだを知ることから  
.....糖尿病看護認定看護師 平松 一葉
- ⑤がんの痛みは対応できる症状です。  
痛みは我慢せずにご相談ください。  
.....がん性疼痛看護認定看護師 小牧 千晴
- ⑤患者さんとともに...  
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 高谷 貴子
- ⑥研修センター通信
- ⑥編集後記
- ⑥当院の理念・当院の基本方針



医師



## 耳鼻咽喉科の新外来体制について

耳鼻咽喉科部長 安藤 篤

今年の夏は暑さが大変厳しく、体調を崩されている方もいらっしゃるかと思います。ぜひ、お体に気をつけて下さい。

さて、ご存知の方も多いとは思いますが、本院の耳鼻咽喉科の発展に長年ご尽力された正木元副院長がこの4月に退職されました。また、7月末に矢野原医師が退職しました。ここ数年は医師の異動が多く、皆さんから「すぐ先生が変わる。」とお叱りを受けておりました。ご迷惑をおかけして、申し訳ありません。現在は、私(安藤)、佐藤、佐野、岡崎、中村の5人体制です。私たち5名で、新生中部ろうさい耳鼻咽喉科として、正木元副院長の伝統を引き継ぎ、より皆さんに役に立つ耳鼻咽喉科を目指していきたいと考えております。

今までの一番の変更点は、外来診療になります。従来は外来の担当医が、一部の外来枠を除いて固定していませんでした。緊急手術などの特段の事情が無い限りは、曜日により外来担当医が固定となりました。それに伴い、患者さんからの「毎回診察する医師が違うので、そのたびに病状説明が大変」というご不満に関しては、解消できると考えております。また、今までは体調が悪いために予約外で受診される方や

初めて受診される方を予約の合間に診察していました。現在は初診・予約外担当医が診察するため、今までと比べて診察の待ち時間が短くなりました。しかし、光には影が付き物です。今まで当科では好きな曜日に予約が取れましたが、今後は、原則、担当医の曜日をお願いすることとなります。また、予約の枠が制限されるため希望の日に予約が取れない場合がありますので、なにとぞご容赦ください。

今まで通院されていた患者さんは、ベテランの正木元副院長が退職されたため大丈夫かしらと心配かと思っております。しかし、御心配は無用です。

現在、安藤と佐野は、主にのどや口の中の腫瘍および頸部の手術を担当しております。頭頸部癌治療専門医としてこの地域のお役にたてればと思っております。佐藤は中耳手術のスペシャリストで、ほぼすべての耳の手術に対応可能です。また、新生児や小児の聴覚障害の治療も専門としています。もちろん成人の治療も得意としています。鼻の手術やいびきの治療は今まで通り積極的に行っていきます。本院に来ていただければ、例外的な症例を除いてほとんど対応可能なスタッフと自負しております。今後とも、中部ろうさい病院耳鼻咽喉科をよろしく願いいたします。

★「フィリア・レター」は、中部ろうさい病院が、患者さんに向けて本院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者さまの建設的な意見を反映する広場として発行しています。

## 糖尿病バイキング教室の紹介

栄養管理室 水野 智春

当院では、平成21年10月から糖尿病教育入院患者さんを対象とした『糖尿病バイキング教室』を毎月第3水曜日の12:00～13:00に4階デイルームで開催しています。

糖尿病食は一般的にヘルシー・うす味・制限食などのイメージがありますが、当院では『健康長寿食』と考えています。自分の活動量に見合った量で、いろいろな食材を利用したバランス食、そして、おいしく楽しく食べてしっかり動くことが糖尿病治療の基本です。退院後に外食する場合のことを想定し自分の適量、料理のバランスを糖尿病バイキング教室で学びます。糖尿病バイキング教室のプログラムは、管理栄養士から料理と選び方の説明を受けたのち、まず自分でメニューを見て、料理を選びます。その後、管理栄養士と選

び方や栄養量のチェックをして料理を取ります。もちろん、ごはんは患者さん自身で秤を使って計量します。バイキング教室の料理は、通常の病院食ではなく、レストランで食事することを想定したメニューです。若手の管理栄養士達が何度も試作を繰り返したメニューを調理師が腕を振ります。最近では、全国の郷土料理も取り入れ、記念すべき1回目は長崎県の大村寿司を提供しました。レシピ集も用意し、管理栄養士によるミニレクチャーも行います。また、テーマソングの披露や理学療法士の運動療法も加わり、ますますパワーアップしています。歌のタイトル「楽しく、賢く、食べましょう」の通り、楽しく食事療法を学ぶ場となっています。



## 医療ソーシャルワーカーをご存じですか？

突然の入院、病気の告知は私たちの生活にとって大きな出来事です。時には、家族全体の生活を揺るがすことにもなります。自分や家族の力で問題を解決できればよいのですが、困難な場合もあると思います。医療相談室では、医療ソーシャルワーカーが入院、療養に伴う生活問題について相談に応じています。問題を整理し、解決方法を一緒に考えさせていただきます。

現在、4名の医療ソーシャルワーカーが相談援助を行っています。ご相談の内容、プライバシーは守りますので、療養上困っていること、不安なことがありましたら、一度お気軽にご相談下さい。相談は無料です。

なお、原則予約制としておりますが、可能な限り当日のご相談にも対応致します。相談希望の方は、事前にお電話を入れていただくと、お待ちせずにお話を伺うことができます。

- |  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| ◇突然の入院で医療費、生活費が心配                      | ◇退院後の療養先を探したい                       |
| ◇身体障害者手帳を取りたい、障害者手帳を取るとどんなサービスが利用できるの？ | ◇休職中の所得保障制度について知りたい                 |
| ◇介護保険を利用したい、ヘルパーや介護保険施設を利用したい          | ◇体に障害が残り、車いすでの生活になりそう。どんな制度が利用できるの？ |

～ 相談支援センター（よろず相談室内）のご案内 ～

【場 所】 診療棟1階、よろず相談室内（救急外来受付前）

【相談時間】 月曜日～金曜日：午前8時15分～午後5時

【休 日】 土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）

【電話番号】 052-652-5511（代表） 内線3031

交換に『医療ソーシャルワーカーに相談をしたい』とお伝え下さい。

【担当者】 竹内、小貝、奥村、田中

★中部ろうさい病院のホームページで、〈病院の情報〉〈フィリア・レター〉〈ろうさい病院つうしん〉がご覧いただけます。携帯電話からもアクセスできます。どうぞ、ご利用ください。

## 看護週間によせて

いつも笑顔で声をかけてくださりありがとうございます。心から感謝をしています。先日私の「大変なお仕事ですね」という言葉に「この仕事が好きなんです」と輝くような笑顔で即答して下さいました。ここにお世話になることができてよかったです。



健康でいる時には思わない事も病気になって看護師さんや先生のちょっとしたことにすごくうれしく安心したいと思います。大変なお仕事だと思いますががんばって下さい。

毎日大変なお仕事に対して笑顔で答えていらっしゃる御姿、大変美しい事ですが、皆々様の優しい御心に感謝いたします。





認定看護師



## 自分のからだを知ることから

糖尿病看護認定看護師 平松 一葉

現在、国民の4人に1人が糖尿病またはその予備群で、そのうち4割が未治療とされています。また、健康診断で血糖値の異常が見つかった人は、「異常なし」の人に比べて10年後の医療費が約1.7倍かかることがわかっています。糖尿病は自覚症状が無く、症状を感じる頃には合併症を発生している事が少なくありません。定期的に自分のからだの状態を知る健康診断を受けて、ご自身のからだの

状態を知り、異常があれば早い段階で医療機関に受診して頂く事をお勧めします。また、現在糖尿病で治療をされている方で血糖コントロールがつかないと悩んでいる方もいらっしゃると思います。日々の生活の中で一つでも改善できる点を見つけるお手伝いをさせて頂く事が私達の仕事です。生活改善の為に何をしたら良いのか悩んでいる方、いつでも相談をお待ちしています。

## がんの痛みは対応できる症状です。 痛みは我慢せずにご相談ください。

がん性疼痛看護認定看護師 小牧 千晴

がんになると痛みで苦しむというイメージの方が多いと思います。そして、がんの痛みは対応できる症状ということを知らない方もいます。

がんによる痛みは、診断時に約30%の方にあると言われ、進行すると約70%の方が痛みを経験すると言われています。また、体の痛みだけではなく、がんと知らされることは、衝撃的なできごとであり、今後の治療やこれ

からの生活のことなど不安でいっぱいになってしまう方もいらっしゃると思います。

がんの痛みは早期介入で軽減できると言われています。今現在、痛みを我慢していたり、日常生活に困っていることや心配なことがあればいつでもご相談ください。痛みを抑え、あなたらしく過ごすためにお手伝いさせていただきます。

## 患者さんとともに…

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 高谷 貴子

脳卒中には、脳梗塞、脳出血があります。脳卒中を起こすと手足の運動麻痺や意識障害、うまく話せないなどの症状が出て後遺症となることが多く、その後の人生を一変させてしまいます。脳卒中は、要介護の原因の第1位となっており、早期受診や治療、機能回復のためのリハビリを受けることが重要となります。そのため、手足の動きにくさやしゃべりづらさを感じたら、夜間でもすぐに受診され

ることをお勧めします。

私は、6西病棟で医師と連携を図りながら、脳卒中の急性期の方の状態を評価・判断し、入院時から退院後の生活を見据え、その人らしい社会生活が送れるように支援しています。障害を持ちながらも新たな一歩をともに踏み出し、一人でも多くの患者さんの笑顔が見られるように頑張っていきたいと思います。

## >> 研修センター通信 <<

### ◆ 朝の勉強会 ◆

当院の臨床研修は、毎週3回、一日の研修業務に入る前の朝7時30分より勉強会があります。主に救急外来で診察した症例の検討会、各診療科上級医による講義などが行なわれます。症例検討会では、研修医が自分で診察をした患者様の症例を呈示し、それに対し、上級医の所見や知識的な教示、同僚研修医からの質問等もあり、検討が進められます。朝の短い時間ですが、充実した研鑽の場となります。



### ◆ 病院見学の医学生 ◆

当院では、医学部卒業後、医師としてのスタートを切る病院選びのため、年間を通して、医学生の病院実習や見学を受け入れています。いわば、一般企業への就職活動で言う会社訪問にあたるものです。時折病院内で見かける、大学名の入ったネームプレート白衣姿のほとんどは、この病院実習や見学のための医学生たちです。今年も

例にもれず、特に夏の暑い時期に、全国から、最も多くの医学生が病院を訪れました。なお、医学生が診察室に同行させていただく場合もありますが、承諾いただけない患者様につきましては、受診時にご遠慮なくスタッフにお申し出ください。

### ◆ 後期研修医 ◆

医師免許取得後は、基本研修のため市中の臨床研修病院や大学病院に入り、2年間の必須研修を行う初期研修医、そしてその後、それぞれが目指す診療分野の医師として、通常の診療科業務の中で、より専門的な研修を進める後期研修医へとステップアップして行きます。

今年の春、初期研修を修了し、耳鼻咽喉科の後期研修医となった先生にインタビューしてみました。

『外来、手術、病棟とすべてにおいて主体的にやらせていただけるため、日々わからないことばかりですが、とてもやりがいがあります。』

初期研修医の頃と同様に、上級医のバックアップが本当にきちんとしており、若手の医師が活躍できる場が多くあるのが当院の魅力です。そして上下・同期の仲が良い!!とても働きやすい病院です。』(耳鼻咽喉科 3年次後期研修医 中村)

## ～～ 編集後記 ～～

今年の夏は猛暑、ゲリラ豪雨と気候の変化が激しく、当院の前の道路が冠水したこともありました。体調管理には充分お気をつけ下さい。

本誌では、南木副院長から当院の活用法についてのアドバイスがありました。地域の診療所との連携を強化しておりますので、ぜひ参考にしてください。

また、看護週間の際には皆様から貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。日々の診療、看護の励みになります。当院では今年から新たに3人がそれぞれ脳卒中リハビリテーション、糖尿病、がん性疼痛の認定看護師資格を取得しました。今後もよりよい医療を皆様に提供できるように努力していきたいと思っております。(S.T.)

## 当院の理念

皆さんとの出会いを大切にし、苦しみを分かち合い、健康で潤いある生活を送れるよう職員一同努めます。

## 当院の基本方針

- ・ 医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・ 生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・ 人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・ 地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・ 災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供